

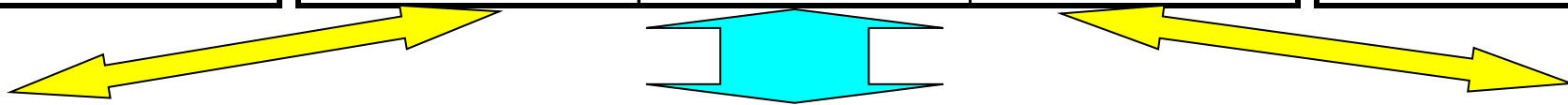
平成30年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立園和小学校

| 学力調査結果等から見た 学力向上についての課題 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○全国調査の結果から見られる課題 <ul style="list-style-type: none"> (1)各教科の状況(全国平均との比較) <ul style="list-style-type: none"> ・国語 A -3.8ポイント B -0.5ポイント ・算数 A +2.4ポイント B +1.1ポイント ・国語の知識・活用共に全国平均を下回り、語彙力、表現力に課題がある。 ・算数では、知識・技能を活用しようとする力に課題がある。 (2)質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・学習への関心・意欲が低い。 ○児童の学習意欲や学習理解度について、個人差がある。 ○家庭学習の定着に課題があり、基礎学力に重点を置いた対策が必要である。 ○若手教員の割合が多く、授業力の向上を組織的・計画的に進める必要がある。 |

| 課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成) | | |
|--|---|--|
| 授業力向上への取組 | 学習習慣定着に向けた取組 | その他の取組 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○大学教授を招聘して、算数を中心とした授業改善に取り組む。【(1)講師招聘支援を活用】 ○一人一公開授業を行い、定期的に授業研究を行う。 ○研究大会に計画的に参加する。校内伝達講習や研修会を実施し授業力の向上を図る。【(4)学力定着支援を活用】 ○若手教員の授業力向上の為、「校内新任研修会」を計画的に実施する。(月1、2回) | <ul style="list-style-type: none"> ○3・4年生において、算数の授業だけでなく、休み時間等も利用してきめ細やかな指導を行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。【(2)授業補助支援を活用】 ○全学年で毎週木曜日を「学級の日」と定め、6時間目を個別指導の時間とする。3年生以上では、学力に応じた学習支援を実施する。(基礎・活用力)【(3)放課後等学習支援を活用】 ○「毎日の算数」プリントを全学年で実施し、家庭学習と授業の一体化を図る。【(4)学力定着支援を活用】 ○家庭学習の手引きを全家庭に配布し保護者との連携を図る。【(4)学力定着支援を活用】 | <ul style="list-style-type: none"> ○朝の学習タイム(算数・国語・読書)に取り組む。 ○教科指導におけるICT活用を推進する。 ○「そのわ算数テスト」を実施し、児童の学力実態を把握する。 ○ペア、グループトークを有効に活用して、意見交流の活発化を図る。 ○主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る。 ○図書館ボランティアによる読み聞かせを実施する。 【(5)地域人材活用支援を活用】 ○全学年が、あまっ子ジャンプチャレンジランキングに参加し、体力の向上と運動への関心意欲を高める。 |

| 本年度の具体的な目標 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力学習状況調査 <ul style="list-style-type: none"> (1)学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> 国語(全国平均+1.0ポイント以上) 算数(全国平均+2.0ポイント以上) (2)質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「授業がよくわかる／わかる」(昨年度75% 今年度目標85%以上) ・「宿題をまったくしない／あまりしない」(昨年度0.7% 今年度目標1.0%以下) |



| 校種間連携 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○幼保小連携 <ul style="list-style-type: none"> (1)教員の授業参観交流 <ul style="list-style-type: none"> ・園和小学校教員が園和幼稚園年長園児の活動を参観して意見交換を行う。 ・園和幼稚園教員、戸の内保育所教員が園和小学校1年生授業研究会に参加する。 (2)園児の小学校体験 <ul style="list-style-type: none"> ・園和幼稚園年長園児が、園和小学校1年生と交流したり、給食体験を行ったりする。 ○小中連携 <ul style="list-style-type: none"> (1)教員の交流 <ul style="list-style-type: none"> ・園田東中学校教員の小学校授業参観(5・6年生)、園和小学校教員の中学校授業参観(1年生)を行い教員交流を進める。 ・園田校区2中5小による夏季合同研修会を実施する。 (2)児童生徒の交流 <ul style="list-style-type: none"> ・園和小学校6年生による園田東中学校体験入学(ウェルカム授業)を実施する。 ・園田東中学校生徒会による小学校訪問(中学校の紹介)を実施する。 |

| 活用する支援内容 | |
|-------------|--|
| 支援内容 | 具体的内容 |
| (1)講師招聘支援 | ○校内研究授業の指導助言(京都女子大学 坂井武司准教授 3回) |
| (2)授業補助支援 | ○3・4年生の算数を中心とした授業補助支援 6h×25週×1人 4h×25週×1人 |
| (3)放課後等学習支援 | ○放課後学習 2h×25日×2人 ○夏季休業期間 3h×5日×2人 |
| (4)学力定着支援 | ○「毎日の算数」プリント、「そのわ算数テスト」の作成 ○「家庭学習の手引き」の作成 ○研究大会(算数科や言語活動等の研究を中心とした学校)への参加 ○幼保小連携交流用の教具教材作成 ○教員の授業力向上及び児童の学習支援に関する書籍の購入 |
| (5)地域人材活用支援 | ○図書館ボランティアによる読み聞かせ |

| 家庭・地域との連携 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○「毎日の算数」プリントを全学年で継続して実施することによる家庭学習の習慣化を図っていく。 ○全家庭へ「家庭学習の手引き」を配布して活用することによる家庭学習の定着化を図っていく。 ○学力調査結果、学力向上の取り組み、学校評価等を学校便りで公表し、ホームページに掲載する。 ○オープンスクール(学校公開)を実施し、家庭や地域に授業公開を行う。 ○学校支援ボランティア(図書ボランティア等)の協力による学習環境の整備を進めていく。 |